



会長方針「原点回帰」

例会報告 第811回 第812回

第811回 例会

2011年1月11日

龍城神社



新年初例会は龍城神社で挙行。会員全員が厳かに神殿の前で新春を寿ぎ、新年が各自にとって「家内安全、商売繁盛、満願成就」となるよう参拝しました。

今年の還暦の祝いは、2名です。それぞれが、来た道を振り返り、これから行く道の抱負を語りました。



還暦祝いの L.伊藤 京治

L.中川 哲也

誕生祝い L.伊藤 京治

L.上野 一夫 L.新井 恵子

前月結婚祝いL.早川 凱夫

第812回 例会

2011年1月25日

会場



平松会長の挨拶のあと。本日の卓話は、宇野 政博さんです。

宇野さんは、豊田市内の小、中学校に勤務され、岩倉小学校の校長先生で定年退職。腹話術を習い豊田市を中心に幼稚園、小中学校、諸施設など訪問して話します。すると幼い子は眼を輝かせて聞き入ってくれるそうです。

腹話術にもテストがあるそうで、一人前になるのも努力が必要なようです。

◎今日のお話は、「法句経」にある「けしの実」の物語です。

釈尊が、病気になった子供の母親の嘆きを聞き、病気を治す薬の処方は、葬儀を出したことの無い家庭の「けしの実」を集めて、そこから作ることに母親に語りました、母親は探しましたが集められませんでした。

葬儀を出したことの無い家庭はないのです。

釈尊は、だれもが悩み、苦しみを抱えているものであることを、母親に諭したのです。

これが、諸行無常であると説いたそうです。



物語も良かったのですが、絶妙な腹話術に思わず、引き込まれました。

アクティビティ

岡崎城下二十七曲リシンポジウム
「歩いて感じる岡崎の誇りと感動」

2011年1月31日(於 リブラ)



発言者に聞き入る会場風景

意見を述べる L.平松会長

岡崎市主催のシンポジウムが開催されました。

出席者のパネリストは

浅井信太郎(八丁味噌協同組合)

植野誓子(岡崎ウォーキング会)

中野敏雄(合名会社備前屋)

当クラブの平松会長

コーディネーター

白井宏幸(NPO岡崎都心再生協議会)です。

新行 紀一氏(愛知教育大学名誉教授)の基調講演「二十七曲りの歴史的価値と魅力」があり、白井さんの司会の下、パネラーがそれぞれに積極的な意見を述べました。会長は、当クラブが過去30年余に亘って二十七曲りを広め、道程の要所に標柱、案内碑を設置し、岡崎の歴史的遺産の継承に努める供に、観光岡崎のPR、また市民の認知度向上に協力したと発表。今後も、ウォーキング等を通じて活動したいと話した。

また、当クラブのL.加藤栄一は岡崎市からの要請で、小学校において二十七曲りの成立時期、意義、道順、施設、その時代の生活等について講義を行っています。

ゴルフ同好会 だより

岡崎カントリー倶楽部

2010年12月17日



冬の晴天に恵まれ、楽しいゴルフができました。

成績は

1位 L.坂田 邦彦 NET 77

2位 L.後藤 仙之助 NET 79

ゴルフの終了後、場所を変えて表彰式と忘年会は盛り上がりました。